

下野市 在宅医療・介護連携推進事業実施状況及び課題管理シート

資料4-3

事業のめざす姿 住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができる（下野市高齢者福祉計画：みんなで支え合い安心して暮らせる健やかなまちづくり）

日常の療養支援

A	めざす姿 市民が住み慣れた地域で安全安心に自分らしい暮らしを続けることができるよう、行政、医療、福祉、地域住民の連携を深めながら、孤立・孤独がなく暮らせる地域づくりを目指す。																																									
B	<p>C</p> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療と介護の連携は現場レベルで実施しているが、まだまだ十分とは言えず、各職種の顔の見える対等な関係性の更なる推進が必要である。 ・限られた社会資源でのサービス調整となる。 ・認知症に係る相談窓口が分からない市民が約7割であり、住民が認知症に関する相談や制度の活用が進まない事が心配される。 ・下野市の事業所情報や地域資源を掲載した”Sナビ(ayamuシステム)”は稼働しているものの、医療職や市民の利活用頻度が低く、効果的な運用が図られていない。 																																									
B	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多職種の連携には顔の見える関係性が重要であるが、職種や立場による上下関係のない、対等な関係性とは言い難い。 ・訪問介護事業所が少なく、事業所も閉鎖もあったため施設入所に考え方が変わっている。施設のヘルパーも不足している。 ・第9期計画策定時のアンケート結果によれば、認知症にかかる相談窓口を知らないと回答した割合が68.6%で、知っていると回答した割合は27.5%となっている。わがこととならないと相談窓口を調べない。 ・Sナビ(ayamuシステム)には事業所情報や地域資源を掲載しているが、※他分野の情報が充実していない。さらに情報充実に努めていく必要がある。 																																									
D	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="261 705 1032 741">実施対象及び内容（具体的に）</th> <th data-bbox="1032 705 1448 741">E</th> <th data-bbox="1448 705 1694 741">指標</th> <th data-bbox="1694 705 2015 741">評価時期</th> <th data-bbox="2015 705 2335 741">目標値</th> <th data-bbox="2335 705 2496 741">結果</th> <th data-bbox="2496 705 2849 741">実施状況に対する評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="261 741 1032 919">多職種連携の協議の場や研修会を実施し、顔の見える対等な関係性を推進する。</td> <td data-bbox="1032 741 1448 919" rowspan="4">E</td> <td data-bbox="1448 741 1694 919">①多職種連携の協議の場の開催 (特に介護系に特化した協議の場) ②多職種連携研修会の開催 ③在宅医療・介護連携推進協議会の開催</td> <td data-bbox="1694 741 2015 919">年度末</td> <td data-bbox="2015 741 2335 919">①1~2回 ②2回 ③1回</td> <td data-bbox="2335 741 2496 919"></td> <td data-bbox="2496 741 2849 919"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="261 919 1032 1052">介護人材確保推進事業 ・市内の介護事業所に対し、離職防止のための研修会を開催する。</td> <td data-bbox="1448 919 1694 1052">市内18事業所の介護職員に対し、離職防止の研修会を開催する。</td> <td data-bbox="1694 919 2015 1052">年度末</td> <td data-bbox="2015 919 2335 1052">18事業所への研修会開催</td> <td data-bbox="2335 919 2496 1052"></td> <td data-bbox="2496 919 2849 1052"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="261 1052 1032 1251">認知症の相談窓口の周知活動（わがこととなった際に調べ情報が得られるように周知を行っていく。） ①HP、広報誌への積極的な情報発信 ②認知症サポーター養成講座の土日開催による普及啓発 ③市民向け認知症講演会の開催 ④認知症ケアパスの普及</td> <td data-bbox="1032 1052 1448 1251">評価</td> <td data-bbox="1448 1052 1694 1251">①HP、広報誌への情報掲載 ②認知症サポーター養成講座の土日開催による普及啓発 ③市民向け認知症講演会の開催 ④認知症ケアパスの普及</td> <td data-bbox="1694 1052 2015 1251">年度末</td> <td data-bbox="2015 1052 2335 1251">①HP記事更新、広報誌への認知症関連記事の掲載2回 ②土日開催年2回 ③1回開催 ④HPや広報誌へ記事掲載</td> <td data-bbox="2335 1052 2496 1251"></td> <td data-bbox="2496 1052 2849 1251"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="261 1251 1032 1383">①Sナビ（ayamuシステム）の情報精査、更新作業を行う。 ②ケアマネ連絡協議会や医療・介護連携推進協議会にて周知を行う。</td> <td data-bbox="1032 1251 1448 1383"></td> <td data-bbox="1448 1251 1694 1383">①Sナビの情報精査、更新作業 ②ケアマネ連絡協議会及び医療・介護連携推進協議会での周知</td> <td data-bbox="1694 1251 2015 1383">年度末</td> <td data-bbox="2015 1251 2335 1383">①Sナビの情報更新 ②ケアマネ連絡協議会1回、医療・介護連携推進協議会1回</td> <td data-bbox="2335 1251 2496 1383"></td> <td data-bbox="2496 1251 2849 1383"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="261 1383 1032 1476"></td> <td data-bbox="1032 1383 1448 1476"></td> <td data-bbox="1448 1383 1694 1476"></td> <td data-bbox="1694 1383 2015 1476"></td> <td data-bbox="2015 1383 2335 1476"></td> <td data-bbox="2335 1383 2496 1476"></td> <td data-bbox="2496 1383 2849 1476"></td> </tr> </tbody> </table>	実施対象及び内容（具体的に）	E	指標	評価時期	目標値	結果	実施状況に対する評価	多職種連携の協議の場や研修会を実施し、顔の見える対等な関係性を推進する。	E	①多職種連携の協議の場の開催 (特に介護系に特化した協議の場) ②多職種連携研修会の開催 ③在宅医療・介護連携推進協議会の開催	年度末	①1~2回 ②2回 ③1回			介護人材確保推進事業 ・市内の介護事業所に対し、離職防止のための研修会を開催する。	市内18事業所の介護職員に対し、離職防止の研修会を開催する。	年度末	18事業所への研修会開催			認知症の相談窓口の周知活動（わがこととなった際に調べ情報が得られるように周知を行っていく。） ①HP、広報誌への積極的な情報発信 ②認知症サポーター養成講座の土日開催による普及啓発 ③市民向け認知症講演会の開催 ④認知症ケアパスの普及	評価	①HP、広報誌への情報掲載 ②認知症サポーター養成講座の土日開催による普及啓発 ③市民向け認知症講演会の開催 ④認知症ケアパスの普及	年度末	①HP記事更新、広報誌への認知症関連記事の掲載2回 ②土日開催年2回 ③1回開催 ④HPや広報誌へ記事掲載			①Sナビ（ayamuシステム）の情報精査、更新作業を行う。 ②ケアマネ連絡協議会や医療・介護連携推進協議会にて周知を行う。		①Sナビの情報精査、更新作業 ②ケアマネ連絡協議会及び医療・介護連携推進協議会での周知	年度末	①Sナビの情報更新 ②ケアマネ連絡協議会1回、医療・介護連携推進協議会1回									
実施対象及び内容（具体的に）	E	指標	評価時期	目標値	結果	実施状況に対する評価																																				
多職種連携の協議の場や研修会を実施し、顔の見える対等な関係性を推進する。	E	①多職種連携の協議の場の開催 (特に介護系に特化した協議の場) ②多職種連携研修会の開催 ③在宅医療・介護連携推進協議会の開催	年度末	①1~2回 ②2回 ③1回																																						
介護人材確保推進事業 ・市内の介護事業所に対し、離職防止のための研修会を開催する。		市内18事業所の介護職員に対し、離職防止の研修会を開催する。	年度末	18事業所への研修会開催																																						
認知症の相談窓口の周知活動（わがこととなった際に調べ情報が得られるように周知を行っていく。） ①HP、広報誌への積極的な情報発信 ②認知症サポーター養成講座の土日開催による普及啓発 ③市民向け認知症講演会の開催 ④認知症ケアパスの普及		評価	①HP、広報誌への情報掲載 ②認知症サポーター養成講座の土日開催による普及啓発 ③市民向け認知症講演会の開催 ④認知症ケアパスの普及	年度末	①HP記事更新、広報誌への認知症関連記事の掲載2回 ②土日開催年2回 ③1回開催 ④HPや広報誌へ記事掲載																																					
①Sナビ（ayamuシステム）の情報精査、更新作業を行う。 ②ケアマネ連絡協議会や医療・介護連携推進協議会にて周知を行う。			①Sナビの情報精査、更新作業 ②ケアマネ連絡協議会及び医療・介護連携推進協議会での周知	年度末	①Sナビの情報更新 ②ケアマネ連絡協議会1回、医療・介護連携推進協議会1回																																					
F	今後の改善策																																									

入退院支援

A	めざす姿	入退院時において、対象者の必要な情報が切れ目なく共有され、円滑な入退院ができるようになる。					
C	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・病院側と在宅ケアマネジャーの間で連携ができない場合があり、円滑な入退院支援に繋がっていない。 ・限られた社会資源でのサービス調整となる。 ・しもつけ連携マナーブックが活用以前に、存在が薄れている。 ・在宅医療の対象者が、自宅等の住み慣れた場所で生活をしたいと思いつつも、本人や家族の在宅医療・介護に関する情報不足のため選択できない。 ・身寄りがない方、独居・家族が遠方や就労のため支援困難なケースが増えており、入院時やサービス調整時等の緊急連絡先・保証人の確保ができない。 					
B	現状	<ul style="list-style-type: none"> ・病院側と在宅ケアマネジャーの間で連携ができない場合があり、担当ケアマネジャーが把握していた時には既に退院していた、住宅改修の家屋調査が終わっていた、既にサービス事業所が決まっていた等) ・退院させるにも在宅側の社会資源が整っていない。訪問介護事業所が少なく、事業所も閉鎖もあったため施設入所に考え方が変わっている。施設のヘルパーも不足している。 ・しもつけ連携マナーブックが活用以前に、存在が薄れており、活用しているという話が少ない。内容も平成30年当時のものであり、更新が必要である。 ・独居や家族が遠方・就労等の理由や支援者のなれない家族（8050問題等）の増加により、家族機能が低下し入退院支援がスムーズに進まない。 ・身寄りがない方、独居・家族が遠方や就労のため支援困難なケースでは、経済的にも困窮している。 					
D	課題を改善するために実施している事業（対策）	E	指標	時期	目標値	結果	実施状況に対する評価
多職種連携の協議の場や研修会において入退院支援についてあらためて連携の在り方について協議したため、優先度をつけ課題に取り組んでいく。		評価	①多職種連携の協議の場の開催 ②多職種連携研修会の開催	年度末	①多職種連携の協議の場 1～2回 ②多職種連携研修会 2回		
多職種連携の協議の場や研修会において協議を進め、入退院支援について連携を深める。 (しもつけ連携マナーブック内の入退院共通連携シートについて検討)			①多職種連携の協議の場の開催 ②多職種連携研修会の開催	年度末	①多職種連携の協議の場 1～2回 ②多職種連携研修会 2回		
身寄りがない方、独居・家族が遠方や就労のため支援困難なケースが増えており、入院時のサービス調整時等の緊急連絡先・保証人の確保ができない。			①多職種連携の協議の場の開催 ②多職種連携研修会の開催	年度末	①多職種連携の協議の場 1～2回 ②多職種連携研修会 2回		
F	今後の改善策						

急変時の対応

A めざす姿	急変時においても本人の意思が尊重され、適切な医療や介護が受けられ、本人の希望する対応がとれる。					
C 課題	<ul style="list-style-type: none"> ・独居高齢者や親族関係が希薄化しているケースが増加傾向であり、急変時の対応に苦慮している。 ・R5年度に下野市版のエンディングノートを改訂したが、市民がエンディングノートの存在を知らず、急変時に本人、家族の意思が反映されていない可能性がある。 ・市民がACP（人生会議）のことを知らず、認知度が低い。 ・身寄りがない方、独居・家族が遠方や就労のため支援困難なケースが増えており、入院時やサービス調整時等の緊急連絡先・保証人の確保ができない。 					
B 現状	<ul style="list-style-type: none"> ・時代の変化に伴い、親族関係の希薄化が進展しており、急変時に入院の手続き等を誰かに依頼したくても対応が難しい。 ・R5年度に下野市版のエンディングノートを改訂したが、存在を含めて市民に十分に周知されていない。 ・本人の意思と家族の意思が一致していない場合があるが、だいたい家族の意思が優先されてしまい、本人が望む対応に繋がらない場合がある。 ・身寄りがない方、独居・家族が遠方や就労のため支援困難なケースでは、経済的にも困窮している。 					
D 課題を改善するために実施している事業（対策）	E 実施対象及び内容（具体的に）	E 指標	E 時期	E 目標値	E 結果	E 実施状況に対する評価
	エンディングノートについて周知し、担当する利用者や関係者への周知を依頼する。	①多職種研修会での周知 ②ケアマネ連絡協議会での周知	年度末	①1回 ②1回		
	エンディングノートを市民に普及啓発するため、 ①HPや広報紙での周知を行う。 ②市内施設や介護施設等の設置依頼をする。	①HPや広報紙での周知 ②設置場所の拡大	年度末	①実施 ②設置		
	ACP（人生会議）について、広く普及啓発を図る。	①HPや広報紙での周知 ②多職種連携の協議の場の開催 ③多職種連携研修会の開催 ④市民講演会の実施	年度末	①実施 ②1～2回 ③1回 ④1回		
F 今後の改善策						

看取りの場面

A めざす姿	本人や家族がお互いの意思を相互理解し、支援者が寄り添いながら本人が望む看取りができる。					
C 課題	<ul style="list-style-type: none"> ・R5年度に下野市版のエンディングノートを改訂したが、市民がエンディングノートの存在を知らず、急変時に本人、家族の意思が反映されていない可能性がある。 ・市民がACP（人生会議）のことを知らず、認知度が低い。 					
B 現状	<ul style="list-style-type: none"> ・R5年度に下野市版のエンディングノートを改訂したが、存在を含めて市民に十分に周知されていない。 ・本人の意思と家族の意思が一致していない場合があるが、だいたい家族の意思が優先されてしまい、本人が望む対応に繋がらない場合がある。 					
D 課題を改善するために実施している事業（対策）	E 実施対象及び内容（具体的に）	指標	時期	目標値	結果	実施状況に対する評価
	改訂したエンディングノートについて周知し、担当する利用者や関係者への周知を依頼する。	①多職種研修会での周知 ②ケアマネ連絡協議会での周知	年度末	①1回 ②1回		
	改訂したエンディングノートを市民に普及啓発するため、 ①HPや広報紙での周知を行う。 ②市内施設や介護施設等の設置依頼をする。	①HPや広報紙での周知 ②設置場所の拡大	年度末	①実施 ②設置		
	ACP（人生会議）について、広く普及啓発を図る。	①HPや広報紙での周知 ②多職種連携の協議の場の開催 ③多職種連携研修会の開催 ④市民講演会の実施	年度末	①実施 ②1～2回 ③1回 ④1回		
F 今後の改善策						

事業委託	委託の有無	なし
	委託先	
	委託内容	
相談窓口	設置の有無	あり
	コーディネーターの有無	兼務
	設置主体	下野市

地域の医療・介護資源の把握／把握した情報の共有・活用状況
<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源情報サイトSナビ（ayamuシステム）の活用 ・認知症ガイドブック（下野市認知症ケアパス） ・ゆうがお日記～わたしの願い～（エンディングノート）

事業を実施するにあたり困っていること
.

在宅医療・介護連携推進事業の課題の抽出の状況（将来の人口動態や地域特性に応じたニーズ推計等の実施の有無も含めて記載）
<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（高齢者福祉計画策定の前年度） ・市内高齢者施設における看取りの実態調査（高齢者福祉計画策定の前年度）
多職種による協議の場の開催
<ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療・介護連携推進協議会 年2回 ・多職種研修会 年2回 ・認知症対策推進委員会 年1回 ・地域ケア推進会議 年1回
人材育成の状況
<ul style="list-style-type: none"> ・各種会議、研修会の参加
他の地域支援事業との連携状況
<ul style="list-style-type: none"> ・認知症対策推進委員会 ・生活支援体制整備事業 ・地域ケア会議（自立支援型地域ケア会議、地域ケア個別会議、地域ケア推進会議）
他市町との連携
<ul style="list-style-type: none"> ・県南健康福祉センター管内市町担当者会議 ・各種会議、研修会の参加